

8名によるラウンドロビン対戦表

ROUND	7 L - 8 L	1 1 L - 1 2 L	1 5 L - 1 6 L	1 9 L - 2 0 L
1	小原 照之 vs 富永 尚	岡野 秀幸 vs 石原 章夫	斉藤 茂雄 vs 吉田 文啓	太田 隆昌 vs 高橋 延明
2	吉田 文啓 vs 高橋 延明	斉藤 茂雄 vs 太田 隆昌	富永 尚 vs 石原 章夫	小原 照之 vs 岡野 秀幸
3	斉藤 茂雄 vs 石原 章夫	小原 照之 vs 高橋 延明	太田 隆昌 vs 岡野 秀幸	富永 尚 vs 吉田 文啓
4	岡野 秀幸 vs 吉田 文啓	太田 隆昌 vs 富永 尚	小原 照之 vs 斉藤 茂雄	高橋 延明 vs 石原 章夫
5	太田 隆昌 vs 小原 照之	石原 章夫 vs 吉田 文啓	岡野 秀幸 vs 高橋 延明	斉藤 茂雄 vs 富永 尚
6	富永 尚 vs 岡野 秀幸	高橋 延明 vs 斉藤 茂雄	石原 章夫 vs 小原 照之	吉田 文啓 vs 太田 隆昌
7	石原 章夫 vs 太田 隆昌	吉田 文啓 vs 小原 照之	高橋 延明 vs 富永 尚	岡野 秀幸 vs 斉藤 茂雄
P・M	7位 vs 8位	1位 vs 2位	3位 vs 4位	5位 vs 6位

■ ラウンドロビン方式（総当たりボーナスポイント方式）の説明

今回、予選・準決勝を勝ち抜いてきた上位8名の選手による決勝の競技方法をラウンドロビン方式で行います。

一人の選手が他の7名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、“ラウンドロビン”の名称がつけられたとされています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント（ボーナスポイント）が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン（ポイント）が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなくまた敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50、C選手はプラス15となります。またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦7ゲームが終わって、1位と2位・3位と4位というように順位（ポジション）ごとに対戦していくポジションマッチ1ゲームを行い**決勝ステップラダー進出者（上位3名）**を決定致します。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となります。A選手は何勝何敗か？

ポイントはどのくらい稼いでいるのか？プロの熱い戦いに期待して下さい！！

■ 決勝ステップラダー（3名によるステップラダー方式）

上位3名にて、順位ごとの対戦で勝つごとに順位を上げていく試合方法。

